

令和7年度 東京都中学校体育連盟柔道競技部 総会 次第

1. 日 時 令和7年4月6日(日)

受付	9時30分 開始	担当：会計・広告委員会
総会	10時00分～	
審判講習会	11時00分～	
ブロック会議	審判講習会終了後	
保護者・外部指導者説明会	11時30分 受付開始	
	12時00分 開会	

2. 会 場 日本大学第一中学・高等学校

3. 次 第 司会 / 副部長 池田 和幸

★総会～各ブロック会議の対象者は、中学校柔道部顧問・責任者、地域クラブ活動責任者です

－総会－

(1) 開会の言葉	副部長	鈴木 茂
(2) 令和6年度事業報告	総務・広報委員会	富塚 洋多
(3) 令和6年度決算報告	会計・広告委員会	守田 久二
(4) 令和7・8年度東京都中体連柔道競技部役員の確認 (常任専門委員 組織の確認)	部 長	前瀧 大吾
(5) 令和7年度事業計画(案)	総務・広報委員会	富塚 洋多
(6) 令和7年度予算(案)	会計・広告委員会	守田 久二

－諸連絡－

(1) ブロック改変による、大会実施規程の変更点について

- | | |
|-------------------|-------|
| ① ブロック割について | 富塚 洋多 |
| ② 大会組み合わせ実施規程について | 小野 宰 |

(2) 各実務委員会より

- | | |
|---|-------------|
| ① 総務・広報委員会より | 富塚 洋多、奥村 忠範 |
| …都中体連柔道競技部規約、大会実施規程、外部指導者登録、大会要項、HP、地域クラブ活動について 等 | |
| ② 競技委員会より | 小野 宰 |
| …大会組み合わせ実施規程の留意点について 等 | |
| ③ 審判・研究委員会より | 佐藤 陽介 |
| …審判関係・大会役員依頼 等 | |
| ④ 会計・広告委員会より | 守田 久二、岡野 英樹 |
| …協賛・広告依頼について 等 | |
| ⑤ 普及・強化委員会より | 布施 和人 |
| …強化選手選考方法・強化練習会日程について | |

(2) その他

(3) 閉会の言葉

副部長 土屋 純一
審判・研究委員会

－審判講習会－

－各ブロック会議(審判講習会終了後)－

・ブロック毎にブロック大会日程・会場等確認 等

－保護者・外部指導者説明会(12:00～)－

進行 副部長 池田 和幸

【大会入賞記録】

1 第63回東京都中学校総合体育大会柔道大会

令和6年7月26日(金) 東京武道館

団体戦	男子		優勝	準優勝	第3位	
		国士館中	修徳中	足立学園中	武蔵野中	
		全国大会	第3位	— — —	— — —	
		関東大会	ベスト8	ベスト8	ベスト8	2回戦敗退
			第5位		第7位	
		海城中	春日柔道クラブ	豆蔵柔道クラブ	城北中	
	女子		優勝	準優勝	第3位	第4位
		渋谷教育学園渋谷中	淑徳中	世田谷柔道クラブ	修徳中	
		全国大会	ベスト16	— — —	— — —	— — —
		関東大会	第3位	第2位	1回戦敗退	— — —
			第5位			
		国士館中	帝京中	春日柔道クラブ	藤村女子中	

個人戦男子	50kg級		優勝	準優勝	第3位		
			星 凌 介	加 藤 柊 太	小 見 川 波 大	水 村 獅 子	
			足 立 学 園 中	修 徳 中	修 徳 中	青 梅 市 立 新 町 中	
		全国大会	準優勝	— — —	— — —	— — —	
		関東大会	準優勝	2 回 戦 敗 退	1 回 戦 敗 退	— — —	
			敢 闘 賞				
			星 野 陽 生	中 山 誠 也	富 田 陸 翔	和 栗 鈴	
			城 北 中	足立区立第十一中	江 東 区 立 有 明 中	江 東 区 立 東 陽 中	
	55kg級		優勝	準優勝	第3位		
			奥 悠 晴	杉 本 陽 基	安 田 怜 斗	辻 井 凜 音	
			足 立 学 園 中	川 野 柔 道 塾	武 蔵 野 中	国 士 舘 中	
		全国大会	2 回 戦 敗 退	— — —	— — —	— — —	
		関東大会	優勝	2 回 戦 敗 退	1 回 戦 敗 退	— — —	
			敢 闘 賞				
			長 野 幸 佑	富 田 蓮 祐	秋 山 泰 我	安 倍 遙 人	
			足 立 学 園 中	国 士 舘 中	修 徳 中	中 野 区 立 第 七 中	
	60kg級		優勝	準優勝	第3位		
			福 田 悠 真	増 山 龍 太 郎	鈴 木 聖 空	飯 田 颯 太	
			足 立 学 園 中	安 田 柔 道 ク ラ ブ	修 徳 中	江 東 区 立 深 川 第 二 中	
		全国大会	優勝	— — —	— — —	— — —	
		関東大会	優勝	2 回 戦 敗 退	準 優 勝	— — —	
			敢 闘 賞				
			吉 村 泰 地	新 井 統 二 朗	荒 井 大 輝	牛 丸 蕾 斗	
			青 梅 市 立 泉 中	鈴 木 道 場	足 立 区 立 六 月 中	修 徳 中	
	66kg級		優勝	準優勝	第3位		
			桶 谷 陽 南 斗	山 口 力 也	津 田 春 樹	並 木 海 璃	
			国 士 舘 中	安 田 柔 道 ク ラ ブ	足 立 学 園 中	武 蔵 野 中	
		全国大会	優勝	— — —	— — —	— — —	
		関東大会	優勝	ベ ス ト 8	ベ ス ト 8	— — —	
			敢 闘 賞				
			青 木 琉 磨	菅 井 悠 雅	園 田 将 梧	平 山 颯 羅	
			志友会柔道クラブ	葛 飾 区 立 青 葉 中	シダックス柔道倶楽部	羽村市立羽村第一中	
	73kg級		優勝	準優勝	第3位		
			佐 藤 来 暁	大 西 将 生	加 藤 慎 隆	米 元 勇 人	
			武 蔵 野 中	安 田 柔 道 ク ラ ブ	城 北 中	国 士 舘 中	
		全国大会	2 回 戦 敗 退	— — —	— — —	— — —	
		関東大会	第 3 位	2 回 戦 敗 退	2 回 戦 敗 退	— — —	
			敢 闘 賞				
			神 里 龍 之 介	山 下 祥 輝	村 井 優 斗	大 塚 禎 義	
			豆 蔵 柔 道 ク ラ ブ	城 北 中	足 立 学 園 中	海 城 中	

個人戦男子	81kg級		優勝	準優勝	第3位		
			小林 陸	河本 剛太朗	岩永 豊啓	富田 大和	
			武蔵野中	国士舘中	足立学園中	国士舘中	
		全国大会	優勝	— — —	— — —	— — —	
		関東大会	準優勝	2回戦敗退	1回戦敗退	— — —	
			敢闘賞				
			丹羽 陽飛	木下 琥大朗	山田 昊	勝田 康貴	
			松前 柔道塾	練馬区立上石神井中	多摩市立和田中	安田柔道クラブ	
	90kg級		優勝	準優勝	第3位		
			大平 一楽	藤井 心人	佐藤 儀八	久我 龍之介	
			国士舘中	春日柔道クラブ	国士舘中	春日柔道クラブ	
		全国大会	準優勝	— — —	— — —	— — —	
		関東大会	第3位	2回戦敗退	1回戦敗退	— — —	
			敢闘賞				
			釘宮 孝明	高橋 希海	伊藤 大吾	田畑 陽大	
			志友会柔道クラブ	武蔵野中	文教大学付属中	足立学園中	
	90kg超級		優勝	準優勝	第3位		
			川端 倫育	砂田 蓮音	渡邊 郁翔	永田 菫雅	
			国士舘中	国士舘中	修徳中	修徳中	
		全国大会	ベスト8	— — —	— — —	— — —	
		関東大会	ベスト8	1回戦敗退	2回戦敗退	— — —	
			敢闘賞				
			神田 鳳希	田邊 莉玖	二川 孔宣	岩下 涼	
			墨田区立桜堤中	武蔵野中	足立区立蒲原中	春日柔道クラブ	

令和6年7月25日(木) 東京武道館

女子個人戦	40kg級		優勝	準優勝	第3位	第4位
			仲宗根 心葉	小林 莉桜	木村 結香	小島 七虹
			淑徳中	鈴木 道場	帝京中	多摩市立東愛宕中
		全国大会	第3位	— — —	— — —	— — —
		関東大会	第3位	ベスト8	— — —	— — —
			敢闘賞			
			— — —	— — —	— — —	— — —
			— — —	— — —	— — —	— — —
	44kg級		優勝	準優勝	第3位	第4位
			石川 まひる	川上 優奈	田中 歩佳	佐藤 香乃
			淑徳中	渋谷教育学園渋谷中	修徳中	江戸川区立瑞江第三中
		全国大会	ベスト8	— — —	— — —	— — —
		関東大会	優勝	1回戦敗退	— — —	— — —
			敢闘賞			
			秋山 恋華	福地 ひかる	猪ノ口 里菜	竹森 心麗
			修徳中	修徳中	築地警察署	葛飾区立綾瀬中
	48kg級		優勝	準優勝	第3位	第4位
			嶋 貫 ゆず	岡本 悠里	松井 渚	都 杏奈
			淑徳中	渋谷教育学園渋谷中	葛飾区立青葉中	淑徳中
		全国大会	ベスト8	— — —	— — —	— — —
		関東大会	優勝	準優勝	— — —	— — —
			敢闘賞			
			飯田 綺芽	高橋 和禾奈	金子 優衣	小田 夏凜
			練馬区立貫井中	葛飾区立青葉中	国士舘中	三鷹市立第二中

女子個人戦	52kg級		優勝	準優勝	第3位	第4位
			丸山ひかり	安富礼	山田杏	村越のんの
			国士舘中	淑徳中	世田谷柔道クラブ	修徳中
		全国大会	3回戦敗退	— — —	— — —	— — —
		関東大会	準優勝	1回戦敗退	— — —	— — —
			敢闘賞			
			八木俐早子	巖岩愛香	濱田愛栞	神里あおい
			藤村女子中	国士舘中	鈴木道場	豆蔵柔道クラブ
	57kg級		優勝	準優勝	第3位	第4位
			加藤歌桜	芳垣理乃	田中美海	岡本唯花
			淑徳中	渋谷教育学園渋谷中	八王子市立城山中	八王子警察署少年柔道会
		全国大会	優勝	— — —	— — —	— — —
		関東大会	準優勝	ベスト8	— — —	— — —
			敢闘賞			
			花井柚子	久保木愛海	安次嶺ありす	近松冴映
			世田谷区立太子堂中	八王子市立城山中	松前柔道クラブ	淑徳中
	63kg級		優勝	準優勝	第3位	第4位
			上田歩華	新城美海	小島向夏	新堀江姫
			修徳中	藤村女子中	藤村女子中	江東区立深川第二中
		全国大会	ベスト8	— — —	— — —	— — —
		関東大会	ベスト8	1回戦敗退	— — —	— — —
			敢闘賞			
			田島麻央	井槌萌愛	神定楓	三浦千佳
			墨田区立桜堤中	春日柔道クラブ	江戸川区立松江第一中	淑徳中
	70kg級		優勝	準優勝	第3位	第4位
			武田桃佳	石道心晴	クレイマー内海レオナ	齋藤麗美
			渋谷教育渋谷中	世田谷柔道クラブ	修徳中	修徳中
		全国大会	2回戦敗退	— — —	— — —	— — —
		関東大会	優勝	1回戦敗退	— — —	— — —
			敢闘賞			
			坂本早音	勝田彩美	— — —	— — —
			町田市立南中	帝京中	— — —	— — —
	70kg超級		優勝	準優勝	第3位	第4位
			澤明音	荒井美緑	渋谷絆	渡曾柚羽
			渋谷教育学園渋谷中	世田谷柔道クラブ	春日柔道クラブ	江戸川区立小松川第二中
		全国大会	3回戦敗退	— — —	— — —	— — —
		関東大会	準優勝	1回戦敗退	— — —	— — —

※40kg級、70kg級、70kg超級については参加選手が少ないため、表彰規定により表彰

◇第49回関東中学校柔道大会

令和6年8月9日～11日

神奈川県相模原市：相模原ギオンアリーナ（相模原市総合体育館）

◇第55回全国中学校柔道大会

令和6年8月20日～23日

長野県佐久市：長野県立武道館

2 第70回東京都中学校新人柔道大会

第5回東京都中学校新人女子柔道大会

令和6年10月20日(日) 講道館

団体戦	男子	優勝	準優勝	第3位	
		国士舘中	武蔵野中	足立学園中	修徳中
		第5位			
		松前柔道塾	春日柔道クラブ	飯田道場	墨田区立桜堤中
	女子	優勝	準優勝	第3位	
		淑徳中	渋谷教育学園渋谷中	世田谷柔道クラブ	修徳中
		第5位			
		藤村女子中	国士舘中	葛飾区立青葉中	帝京中

第35回東京都中学校新人体重別女子柔道選手権大会

第12回東京都中学校新人体重別柔道選手権大会

令和6年11月2日(土) 東京武道館

女子個人戦	40kg級	優勝	準優勝	第3位	
		木村結香	横尾あの	天下谷花菜	小島七虹
		帝京中	修徳中	渋谷区立上原中	多摩市立東愛宕中
		第5位			
		津久井梨心	土屋咲子	— — —	— — —
		葛飾区立綾瀬中	正道館 蔦屋道場	— — —	— — —
	44kg級	優勝	準優勝	第3位	
		石川まひる	川上優奈	福地ひかる	田中歩佳
		淑徳中	渋谷教育学園渋谷中	修徳中	修徳中
		第5位			
		中澤芽唯	加藤遥花	猪ノ口里菜	永井友音
		明治学院中	葛飾区立青葉中	築地警察署少年柔道部	飯田道場
	48kg級	優勝	準優勝	第3位	
		岡本悠里	都杏奈	池野結	川畑恵
		渋谷教育学園渋谷中	淑徳中	立川育成柔道会	帝京中
		第5位			
		高本珠緒	野口なる美	吉田帆那	関口咲良
		国分寺市立第一中	日野市立平山中	国士舘中	明治学院中
	52kg級	優勝	準優勝	第3位	
		丸山ひかり	山田杏	竝木杏優	石川榛名
		国士舘中	世田谷柔道クラブ	藤村女子中	帝京中
		第5位			
		多田小春	横山美咲	木村美希	柿沼采良
		飯田道場	葛飾区立水元中	明治学院中	明治学院中

女子個人戦	57kg級	優勝	準優勝	第3位	
		芳垣理乃	岡本唯花	神里あおい	近松冴映
		渋谷教育学園渋谷中	八王子警察署少年柔道会	豆蔵柔道クラブ	淑徳中
		第5位			
		齋藤央華	芝田美紀	篠田夢菜	池村南美
		足立区立蒲原中	修徳中	春日柔道クラブ	新島村立式根島中
	63kg級	優勝	準優勝	第3位	
		三浦千佳	新堀江姫	新城美海	井樋萌愛
		淑徳中	江東区立深川第二中	藤村女子中	春日柔道クラブ
		第5位			
		加藤詩乃	鈴木絢華	曾我部奏	北里優衣
		墨田区立桜堤中	昭島市立拝島中	渋谷教育学園渋谷中	墨田区立桜堤中
	70kg級	優勝	準優勝	第3位	
		石道心晴	小林周生	飯田奈津美	勝田彩美
		世田谷柔道クラブ	一道館田代道場	修徳中	帝京中
		第5位			
		八木奏	中島優里	－ － －	－ － －
		志友会柔道クラブ	葛飾区立水元中	－ － －	－ － －
	70kg超級	優勝	準優勝	第3位	
		渡會柚羽	荒井美緑	鈴木そよか	川畑杏菜
		江戸川区立小松川第二中	世田谷柔道クラブ	昭島市立拝島中	日野市立日野第一中

※40kg級、70kg級、70kg超級については参加選手が少ないため、表彰規定により表彰

男子個人戦	50kg級	優勝	準優勝	第3位	
		富田陸翔	田中琉聖	平田岳士	米多健一郎
		江東区立有明中	足立学園中	国士館中	国士館中
		第5位			
		杉浦均	望月陽翔	佐藤仁翔	谷田貝智成
		足立学園中	葛飾区立本田中	足立区立伊興中	修徳中
	55kg級	優勝	準優勝	第3位	
		秋山泰我	小見川波大	水村獅子	小野慎
		修徳中	修徳中	青梅市立新町中	松前柔道塾
		第5位			
		曾根歩陸	杉本陽基	齋藤隼人	橋本歩
		練馬区立貫井中	川野柔道塾	明治学院中	江東区立東陽中

男子個人戦	60kg級	優勝	準優勝	第3位	
		飯田 颯太	辻井 凜音	長野 幸佑	安田 怜斗
		江東区立深川第二中	国士舘中	足立学園中	武蔵野中
		第5位			
		鈴木 陽太	上原 嗣瑛	山崎 一護	森田 琉煌
		修徳中	春日柔道クラブ	川野柔道塾	江戸川区立小岩第三中
	66kg級	優勝	準優勝	第3位	
		酒井 景大	牛丸 蕾斗	園田 将梧	吉村 泰地
		墨田区立桜堤中	修徳中	シダックス柔道倶楽部	青梅市立泉中
		第5位			
		中野 陸	陳之西	永井 湊	野川 瑛太
		練馬区立上石神井中	練馬区立上石神井中	武蔵野中	国士舘中
	73kg級	優勝	準優勝	第3位	
		堀田 宗	石山 友涼	村井 優斗	阿部 陽和
		国士舘中	国士舘中	足立学園中	豆蔵柔道クラブ
		第5位			
		新頭 蒼人	並木 海璃	村田 望風	野田 靖也
		春日柔道クラブ	武蔵野中	東京電機大学中	松前柔道塾
	81kg級	優勝	準優勝	第3位	
		池野辺 紗助	長田 純伍	山田 昊	中島 要
		春日柔道クラブ	国士舘中	多摩市立和田中	武蔵野中
		第5位			
		柴原 嗣英	佐藤 礼隆	ジャモリディノフ ファーロット	萩原 大弥
		攻玉社中	江東区立第三亀戸中	春日柔道クラブ	修徳中
	90kg級	優勝	準優勝	第3位	
		田畑 陽大	新井 大惺	綱島 蘭之介	林 煌晟
		足立学園中	松前柔道塾	修徳中	豆蔵柔道クラブ
		第5位			
		小山 創平	三宅 泰雅	小笠原 英大	寺内 春樹
		世田谷区立富士中	駒場東邦中	国士舘中	野火止柔道クラブ
	90kg超級	優勝	準優勝	第3位	
		高橋 希海	堀 琥太郎	佐藤 儀八	櫻井 飛雅
		武蔵野中	国士舘中	国士舘中	シダックス柔道倶楽部
		第5位			
		大屋 翔平	川本 英祐	小磯 出海	高橋 朋希
		墨田区立桜堤中	京華中	足立区立江北桜中	松前柔道塾

【その他】

- 1
東京都中学校体育連盟柔道競技部 総会
令和6年4月6日（土）
日本大学第一中学高等学校
- 2
講道館中学校柔道指導者講習会
令和6年8月19日（月）
長野県立武道館
- 3
日本中学校体育連盟全国ブロック長会議
令和7年1月11日(土)12日(日)
愛知真和学園大成中学校
- 4
関東中学校体育連盟柔道競技部委員長会議
令和7年3月1日（土）
葛飾区立青葉中学校

令和7（2025）年度 東京都中学校体育連盟柔道競技部 常任専門委員会組織（案）

【部長】 【顧問】 2025.04.06版

前 瀧 大 吾 (青 葉)

浅 野 哲 男	田 中 裕 之	本 橋 順 二
高 橋 健 司		

【副部長】
土屋 純一 (八幡) (総務・広報)
池 田 和 幸 (天沼) (競技・普及・強化)
鈴 木 茂 (文教大付属) (審判・研究)
守田 久二 (第二大島) (会計・広告)

【参与】		
岡 根 武 久	櫻 田 昭 正	上 杉 伸 一
山 本 玄 郁	土 居 重 一	荻 田 慈世治
田 本 登喜雄	山 内 康 郎	三 浦 登
小 林 広 志	上 沢 利 美	野 口 敏 朗
濱 島 正 剛	小 椋 孝	芹 澤 敏 光
近 藤 英一郎	小 林 伸 之	

【相談役】
綿 貴 正 人 (桐ヶ丘)

委員会	役職		氏名		学校名	氏名		学校名	
総務・広報	委員長	北	富塚	洋多	(桐ヶ丘)	南	賀持 貴道	(芦 花)	
	副委員長	南	保科	知彦	(代々木)	東	奥村 忠範	(深川第六)	
						東	早川 晋平	(小松川)	
競技	委員長	東	小野	宰	(小松川第二)	南	小池 勲	(蓮 沼)	
	副委員長	東	岡根	武志	(第二砂町)	北	志村 大珠	(赤羽岩淵)	
						東	田中 徳顕	(第四砂町)	
						東	乙谷 陽平	(砂 町)	
						東	石原 宏将	(平 山)	
普及・強化	委員長	南	千品	洋一	(暁 星)	北	永倉 壽	(淑 徳)	
	副委員長	東	布施	和人	(蒲 原)				
審判・研究	委員長	南	佐藤	陽介	(高 輪)	南	磯田 範仁	(国士館)	
	副委員長	多摩	手島	和洋	(藤村女子)	北	田中 順士	(練馬東)	
		多摩	金村	紘世	(拝 島)	東	神谷 駿一	(日大一)	
					多摩	奥 超雄	(立川第五)		
会計・広告	委員長	統括	東	守田 久二	(第二大島)	南	松村 広聡	(立 正)	
	副委員長	会計	南	手塚 貢夫	(日本学園)	南	新妻 弘樹	(世田谷)	
		広告	多摩	岡野 英樹	(南大谷)	南	清水 大輔	(駒場東邦)	
							南	坂本 晴彦	(南六郷)
							北	大石 泰範	(日大二)
					東	後藤 精一郎	(松江第四)		
					多摩	大野 剛	(拝 島)		

【ブロック長】			
南	保科 知彦	東	布施 和人
北	志村 大珠	多摩	金村 紘世

令和 7 (2025) 年度 行事予定表(案) 2025. 04. 06現在

月	日	曜	時刻	中 学 校 体 育 連 盟 柔 道 競 技 部 関 連	会 場
4	1	火	17:00	常任専門委員会	講 道 館
4	6	土	10:00	東京都中学校体育連盟柔道競技部 総会	日 本 大 学 第 一 中 学 ・ 高 等 学 校
4	未定	土	14:00	審判実技研修会・安全指導講習会	
4	18	金	必着	地域クラブ活動書類提出期限	
6	24	火	正午	第64回東京都中学校総合体育大会柔道競技 申込期限	
6	27	金	17:00	競技委員会（都総体組み合わせ①）	北 区 立 赤 羽 岩 淵 中
6	28	土	14:30	競技委員会（都総体組み合わせ②）	北 区 立 赤 羽 岩 淵 中
7	8	火	17:00	常任専門委員会	講 道 館
7	29	火	10:15	第44回東京都中学校体重別柔道選手権大会 第36回東京都中学校体重別女子柔道選手権大会	東 京 武 道 館
7	30	水	10:15	第74回東京都中学校対抗柔道大会 第29回東京都中学校対抗女子柔道大会 兼 第64回東京都中学校総合体育大会柔道競技 第56回全国中学校柔道大会・東京都予選 第50回関東中学校柔道大会・東京都予選	東 京 武 道 館
7	31	木	14:00	関東大会・全国大会申込手続き	未 定
8	6～8	金～日		第50回関東中学校柔道大会	茨 城 県 ・ 日 立 市 さ く ら 川 ア リ ー ナ
8	10	日	9:00	東京都柔道連盟主催普及事業 合同練習	講 道 館
8	18	月		講道館中学校柔道指導者講習会	福 岡 県 ・ 福 岡 市
8	19～22	火～金		第56回全国中学校柔道大会	福 岡 ア リ ー ナ
9	18	木	正午	東京都中学校新人柔道大会（男子71回・女子6回） 東京都中学校新人体重別柔道大会（男子13回・女子36回） 申込期限	
9	26	金	17:00	競技委員会（都新人組み合わせ①）	北 区 立 赤 羽 岩 淵 中
9	27	土	14:30	競技委員会（都新人組み合わせ②）	北 区 立 赤 羽 岩 淵 中
10	7	火	17:00	常任専門委員会	講 道 館
10	26	日	10:15	第13回東京都中学校新人体重別柔道大会 第36回東京都中学校新人女子体重別柔道大会	東 京 武 道 館
11	15	土	10:15	第70回東京都中学校新人柔道大会 第 5回東京都中学校新人女子柔道大会	講 道 館
12	未定			常任専門委員会（反省会）	未 定
1	未定			日本中学校体育連盟柔道競技部 全国ブロック長会議	未 定
1	20	火	17:00	特別常任専門委員会	講 道 館
2	17	火	17:00	役員会	講 道 館
3	7	土	14:00	関東中学校体育連盟柔道競技部 関東委員長会議	葛 飾 区 立 青 葉 中
3	10	火	17:00	特別常任専門委員会	講 道 館

※東京都柔道連盟主催の強化練習会につきましては、東京都柔道連盟のホームページに掲載されていますのでご確認ください。強化選手、準強化選手にはその都度、所属校あてに通知されます。

令和7年4月6日

令和7年度東京都中学校体育連盟柔道競技部主催 大会予定

第44回東京都中学校体重別柔道選手権大会

第36回東京都中学校体重別女子柔道選手権大会

日程	開会時間	場所
令和7年7月29日(火)	9:45	東京武道館

第74回東京都中学校対抗柔道大会

第29回東京都中学校対抗女子柔道大会

日程	開会時間	場所
令和7年7月30日(水)	9:45	東京武道館

第44回東京都中学校体重別柔道選手権大会 ブロック予選

第36回東京都中学校体重別女子柔道選手権大会 ブロック予選

第74回東京都中学校対抗柔道大会 ブロック予選

第29回東京都中学校対抗女子柔道大会 ブロック予選

ブロック	日程	開会時間	場所
南	令和7年6月15日(日)	8:30 (役員集合)	国土館中学校 〒154-8553 東京都世田谷区若林4-32-1
北	令和7年6月15日(日)	8:30 (役員集合)	巣鴨中学校 〒170-0012東京都豊島区上池袋1-21-1
東	①令和7年6月8日(日) ②令和7年6月15日(日)	①②ともに 9:00	帝京科学大学 〒120-0045東京都足立区千住桜木1-11-2
多摩	① 令和7年6月21日(土) 【団体戦・女子個人戦】 ② 令和7年6月22日(日) 【男子個人戦】	①②ともに 9:30	① 日野市市民の森ふれあいホール 〒191-0011 日野市日野本町6-1-3 ② 桐朋中学校 〒186-0004 国立市3-1-10

第13回東京都中学校新人体重別柔道選手権大会

第36回東京都中学校新人体重別女子柔道選手権大会

日程	開会時間	場所
令和7年10月26日(日)	9:45	東京武道館

第71回東京都中学校新人柔道大会

第6回東京都中学校新人女子柔道大会

日程	開会時間	場所
令和7年11月15日(土)	8:45	講道館

第13回東京都中学校新人体重別柔道選手権大会 ブロック予選

第36回東京都中学校新人体重別女子柔道選手権大会 ブロック予選

第71回東京都中学校新人柔道大会 ブロック予選

第6回東京都中学校新人女子柔道大会 ブロック予選

ブロック	日程	開会時間	場所
南	令和7年9月14日(日)	8:30 (役員集合)	国土館中学校 〒154-8553 東京都世田谷区若林4-32-1
北	0	0:00	0
東	①令和7年9月7日(日) ②令和7年9月14日(日)	①②ともに 9:00	帝京科学大学 〒120-0045東京都足立区千住桜木1-11-2
多摩	令和7年9月15日(月祝)	9:30	府中市立総合体育館 〒183-0025 府中市矢崎町5-5

令和7年度 東京都中学校体育連盟柔道競技部 予算(案)

1、収支決算

項 目	予 算 額
総 収 入	5,800,000
総 支 出	5,800,000
差 引 残 額	0

2、収入内訳

項 目		予 算 額	説 明
1	繰 越 金	924	令和6年度より
2	加 盟 費	1,056,000	学校@ 4,000 × 210 私60+公区130+クラブ20 個人@ 3,600 × 60 = 1,056,000
3	大 会 参 加 費	3,000,000	総体兼選手権、新人(秋季)大会の参加費
	(1)	総体兼選手権大会	男子団体@ 9,000 × 45 = 405,000 , 女子団体@ 7,000 × 25 = 175,000 男子個人@ 2,000 × 340 = 680,000 女子個人@ 2,000 × 150 = 300,000
	(2)	新人大会	男子団体@ 9,000 × 45 = 405,000 , 女子団体@ 7,000 × 25 = 175,000 男子個人@ 2,000 × 300 = 600,000 女子個人@ 2,000 × 130 = 260,000
4	総 体 分 担 費	190,000	都教委より
5	競 技 団 体 補 助 金	210,000	指導者講習会費
6	地 教 委 等 補 助 金	0	
7	広 告 協 賛 費	900,000	広告協賛金
8	雑 収 入	443,076	関東大会参加費、プログラム販売、クツ袋販売、利子等
計		5,800,000	

3、部運営及び事業費

項 目		予 算 額	説 明
1	報 償 費	50,000	各分掌委員会報償費、関東大会役員報償費
2	賞 賜 費	0	
3	旅 費	550,000	各委員会交通費、関東大会役員交通費、関東大会宿泊費
4	消 耗 品 費	30,000	事務用品、電池、インク代
5	印 刷 費	0	
6	活 動 費	300,000	関東大会弁当代、都中体連参加費
7	用 具 費	200,000	ケアシステム、トランシーバー
8	通 信 連 絡 費	50,000	切手、ハガキ代、電話料、宅配便代、レンタルサーバー代
9	運 搬 費	10,000	資料運搬費
10	保 険 費	0	
11	会 議 費	0	
12	会 場 使 用 料	0	
13	指 導 普 及 費	210,000	指導者講習会費、
14	研 修 費	10,000	関東中体連会報代、振込手数料
15	分 担 金	250,000	都・関東・全国分担金、関東・全国大会参加費
16	委 託 費	200,000	東京都整復師会
17	賃 金	0	
18	雑 費	10,000	講道館少年団維持費、
19	積 立 金	500,000	関東大会用積立金、繰越金
計		2,370,000	

4、大会運営費

【総体兼選手権大会】 ※2日間分

項 目		予 算 額	説 明
1	報 償 費	500,000	審判役員費、補助役員費、救護費、筆耕代
2	賞 賜 費	20,000	トロフィー・メダル代・賞状代
3	旅 費	60,000	組合せ会議交通費
4	消 耗 品 費	50,000	文房具、ビニール袋、布カラーテープ
5	印 刷 費	200,000	大会プログラム印刷費
6	活 動 費	200,000	役員弁当代
7	用 具 費	150,000	試合場設営費
8	通 信 連 絡 費	5,000	ハガキ代
11	会 議 費	5,000	会議室使用料
12	会 場 使 用 料	500,000	東京武道館使用料
18	雑 費	10,000	大会物品運搬費
計		1,700,000	

【新 人 大 会】 ※2日間分

項 目		予 算 額	説 明
1	報 償 費	500,000	審判役員費、補助役員費、救護費、筆耕代
2	賞 賜 費	150,000	トロフィー・メダル代・賞状代
3	旅 費	60,000	組合せ会議交通費
4	消 耗 品 費	50,000	ビニール袋、紙コップ、文房具
5	印 刷 費	200,000	大会プログラム印刷費
6	活 動 費	200,000	役員弁当代
7	用 具 費	150,000	試合場設営費
8	通 信 連 絡 費	5,000	ハガキ代
11	会 議 費	5,000	会議室使用料
12	会 場 使 用 料	400,000	東京武道館使用料 講道館使用料
18	雑 費	10,000	大会物品運搬費
計		1,730,000	

東京都中学校体育連盟柔道競技部規約

第1章 名称及び事務局

- (名称)
- 第1条 この部は、東京都中学校体育連盟柔道競技部と称する。
- (事務局)
- 第2条 この部の所在地は、部長の勤務先とする。
- 〈令和7年度部長／前瀧 大吾〉〒124-0006 葛飾区堀切 8-12-1 葛飾区立青葉中学校
TEL:03-3602-9591 FAX:03-3838-5765

第2章 目的

- (目的)
- 第3条 この部は、東京都中学校体育連盟規約に基づき、関係団体と連携し、東京都の中学校、地域クラブ活動における柔道の健全な発展を図ることを目的とする。

第3章 事業

- (事業)
- 第4条 この部は、前条の目的を達成するため次の事業を行う。
- (1) 東京都の中学校、地域クラブ活動における柔道の研究とその普及
- (2) 中学校柔道大会の運営及び指導
- (3) その他本部の目的達成に必要な事項

第4章 組織

- (組織)
- 第5条 この部は、東京都中学校体育連盟規約に基づき、加盟校柔道部をもって組織する。
- 第6条 この部の運営を円滑にするために、次の委員会を置く。
- ①役員会 ②ブロック長会 ③特別常任専門委員会 ④常任専門委員会
- 第7条 この部の運営を推進するために、次の実務委員会・特設委員会を置く。
- ①総務・広報委員会 ②競技委員会 ③審判・研究委員会
- ④会計・広告委員会 ⑤普及・強化委員会

- (ブロック)
- 第8条 この部に、次のブロックと支部を置く。
- | | | | |
|--------|-----------------------------------|----------------------|-------------------------------------|
| 南ブロック | 旧第1ブロック→千代田・港・品川・大田 | 島嶼はブロックとせず、従来の支部とする。 | |
| | 旧第2ブロック→新宿・目黒・世田谷・渋谷 | | |
| 北ブロック | 旧第3ブロック→中野・杉並・練馬 | | ※島嶼の学校、地域クラブ活動は、南ブロック大会に出場することができる。 |
| | 旧第4ブロック→文京・豊島・北・板橋 | | |
| 東ブロック | 旧第5ブロック→中央・台東・荒川・足立 | | |
| | 旧第6ブロック→墨田・江東・葛飾・江戸川 | | |
| 多摩ブロック | 旧第7ブロック→八王子・町田・日野・多摩・稲城 | | |
| | 旧第8ブロック→青梅・福生・あきる野・羽村・西多摩 | | |
| | 旧第9ブロック→武蔵野・三鷹・府中・調布・狛江 | | |
| | 旧第10ブロック→国立・立川・昭島・小金井・国分寺・小平 | | |
| | 旧第11ブロック→西東京・東久留米・清瀬・東村山・武蔵村山・東大和 | | |

第5章 役員

(役員)

第9条 この部に、次の役員を置く。

①顧問 ②参与 ③相談役 ④部長 ⑤副部長 ⑥ブロック長 ⑦実務委員長 ⑧実務副委員長
⑩常任専門委員 ⑪専門委員 ⑫特別委員

(部長・副部長の選出と承認及びその任務)

第10条 部長は役員会に於いて選出し、常任専門委員会の承認を経て、年度初期の総会に於いて決定する。副部長は部長・副部長会に於いて選出し、常任専門委員会の承認を経て、同総会に於いて決定する。部長は、この部を代表し、会務を総括する。副部長は部長を補佐し、部長に事故があるときはその職務を代行するとともに、担当ブロックと担当実務委員会の運営についてブロック長ならびに実務委員長の諮問に応ずる。

(ブロック長・副ブロック長の選出と承認及びその任務)

第11条 ブロック長は、各ブロックにおいて選出し部長が委嘱する。ブロック長はブロックを代表し、ブロックの運営を総括する。副ブロック長は、ブロック長が選出し、ブロック長を補佐し、ブロック長に事故あるときはその職務を代行する。

(実務委員長・実務副委員長の選出と承認及びその任務)

第12条 実務委員長及び実務副委員長は常任専門委員会で選出し部長が委嘱する。実務委員長は、別に定める各実務委員会の業務内容の運営を総括する。実務副委員長は、実務委員長を補佐し、実務委員長に事故があるときはその職務を代行する。

(常任専門委員の選出と承認及びその任務)

第13条 常任専門委員は、各ブロックにおいて選出し、部長が委嘱する。常任専門委員は、常任専門委員会を構成して会務の処理に当たる。

(専門委員の選出と承認及びその任務)

第14条 専門委員は、東京都中学校体育連盟規約に基づき、加盟校柔道部責任教諭の中から各区市ごとに2名選出し、常任専門委員会の会務処理を手伝うものとする。

(その他の役員の選出と承認)

第15条 顧問、参与、相談役及び特別委員は、部長が必要に応じて選出し、委嘱する。

(役員の任期と欠員の補充)

第16条 役員の任期は、各2年とする。ただし重任を妨げない。欠員が生じた場合は、これを補充するが、補充任期は前任者の残余の期間とする。

第6章 会議

(会議)

第17条 この部の会議は役員会・特別常任専門委員会・ブロック長会・常任専門委員会及び総会とする。

第18条 役員会は、部長、副部長、実務委員長をもって構成し、部長が招集して会務の処理及び緊急な事項の執行に当たる。緊急な事項を審議及び執行した場合は、次の常任専門委員会に報告するものとする。

(ブロック長会)

第19条 ブロック長会は、部長・副部長・ブロック長をもって構成し、部長が招集して会務の処理、

緊急な事項の執行及びブロックにおける活動の連絡・調整・報告統を行う。緊急な思考を審議及び執行した場合は、次の常任専門委員会に報告するものとする。

(常任専門委員会)

第20条 常任専門委員会は、部長が招集し、部会の重要事項を審議する。

(特別常任専門委員会)

第21条 特別常任専門委員会は、部長指名による常任専門委員をもって構成し、部長が招集し部会の重要事項かつ緊急を要する検討事項を審議する。

第22条 総会は、部長が招集し、この部の事業の状況ならびに会計の収支決算を報告するものとする。総会には、原則としてすべての常任専門委員、加盟校柔道部責任教諭、並びに地域クラブ活動の代表者又は指導者が参加して通常年1回(毎年4月の指定された)開催するものとする。総会に出席することができない常任専門委員、加盟校柔道部の責任教諭並びに地域クラブ活動の代表者又は指導者は、欠席届とともに委任状を部長宛に提出しなければならない。

(会議の成立と議決の方法)

第23条 会議は半数以上の出席により成立する。ただし、委任状を認める。すべて会議は、部長が議長となり、議決は出席者の多数決による。賛否同数の場合は、議長がこれを決する。

第7章 会計

(経費)

第24条 この部の経費は、連盟の予算・大会参加費・協賛費・その他の収入をもって支弁する。

東京都中学校体育連盟本部加盟費 1校 区部 9,000円 市部 8,400円

1チーム 12,000円

各競技専門部登録加盟費 1校 区部 4,650円 市部 4,250円

1チーム 6,000円

大会参加費 団体戦 男子1チーム 9,000円 女子1チーム7,000円

個人戦 1人 2,000円

(予算・決算の承認)

第25条 この部の予算・決算は、常任専門委員会の審議を経て、東京都中学校体育連盟理事会の承認を得るものとする。

(会計期間)

第26条 会計年度は、毎月4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

付則

第27条 本規約は、平成3年5月12日より実施する。

第1次改定は、平成5年4月17日より実施する。

第2次改定は、平成6年4月23日より実施する。

第3次改定は、平成7年4月25日より実施する。

第4次改定は、平成8年4月20日より実施する。

第5次改定は、平成9年4月19日より実施する。

第6次改定は、平成11年4月17日より実施する。

第7次改定は、平成12年4月15日より実施する。

第8次改定は、平成13年4月21日より実施する。

第9次改定は、平成15年4月18日より実施する。

第10次改定は、平成17年4月23日より実施する。

第11次改定は、平成19年4月22日より実施する。

第12次改訂は、平成22年4月24日より実施する。

第13次改訂は、平成23年4月23日より実施する。

第14次改訂は、平成28年4月23日より実施する。

第15次改訂は、平成30年4月21日より実施する。

第16次改訂は、平成31年4月13日より実施する。

第17次改訂は、令和4年4月23日より実施する。

第18次改定は、令和5年4月8日より実施する。

第19次改定は、令和7年4月6日より実施する、

第28条 設立年月日 平成3年5月12日

東京都中学校体育連盟柔道競技部大会実施規程

第1章 審判員

（審判規程の申し合わせ事項）

第1条

東京都における中学校の柔道大会で行われる試合は、国際柔道連盟試合審判規程及び国内における少年大会特別規程を適用して行う。ただし試合場に関してはこの限りではない。また、試合時間及び勝敗の決定は本規定第6章・試合方法で定めるところによる。

（規程適用の教育的配慮）

第2条

審判規程の適用に当たっては、対象の中学生であることを理解し、特に国内における少年大会特別規程を熟知し、常に教育的観点から配慮や判断を行うよう努めなければならない。

（事故防止）

第3条

事故災害の防止には特に配慮し、危険と認められたときは、時期尚早と思われても試合を一時中断し対処するなど、適切に処置しなければならない。

（審判員の資格）

第4条

審判員は、東京都中学校体育連盟加盟校柔道競技部の責任教諭であることを原則とする。ただし、常任専門委員会が認めた場合は加盟校柔道部の責任教諭以外であっても東京都中学校体育連盟柔道競技部（以下本部という）が主催する大会で審判を行うことができる。

（審判技術の研修）

第5条

本部が主催する中学校柔道大会で審判を行う審判員は、本部が開催する審判実技研修会または東京都柔道連盟が開催する審判講習会等に参加し審判技術の向上に努力する。

第2章 大会

（東京都中学校柔道大会）

第6条

東京都中学校体育連盟主催の東京都中学校柔道大会として、次の試合を行う。

- (1) 東京都中学校対抗柔道大会
- (2) 東京都中学校対抗女子柔道大会
- (3) 東京都中学校体重別柔道選手権大会
- (4) 東京都中学校体重別女子柔道選手権大会

※ (1)(2)(3)(4)は東京都中学校総合体育大会柔道競技として、全国中学校柔道大会と関東中学校柔道大会の東京都予選を兼ねる。

- (5) 東京都中学校新人柔道大会
- (6) 東京都中学校新人体重別女子柔道選手権大会
- (7) 東京都中学校新人体重別柔道選手権大会
- (8) 東京都中学校新人女子柔道大会

(ブロックの推薦)

第7条

各ブロックは、第6条(3)・(7)の大会について次の基準に従って大会出場チーム(選手)を推薦するために、ブロック大会を行わなければならない。会場その他の理由により、この基準を適用できない場合は、常任専門委員会の承認を経て変更することができる。

(1) 東京都中学校体重量別柔道選手権大会

- ①この大会に出場できる各ブロックの推薦選手数は、50kg級、55kg級、60kg級、66kg級、73kg級、81kg級、90kg級、90kg級とも次の通りとする。

南ブロック → 12名
北ブロック → 12名
東ブロック → 12名
多摩ブロック → 12名

各階級の推薦選手数 → 48名
[これに島嶼参加選手が加えられる。]

- ②各ブロック大会において、同一のチームから各階級に出場する選手数は、各ブロック別に定めることができるが、この大会に同一の中学校から出場する選手数は、各階級とも2名以内とする。

- ③島嶼のチームの選手が出場する場合は、総数に加えるものとする。

(2) 東京都中学校新人体重量別柔道選手権大会

- ①この大会に出場できる各ブロックの推薦選手数は、50kg級、55kg級、60kg級、66kg級、73kg級、81kg級、90kg級、90kg級とも次の通りとする。

南ブロック → 12名
北ブロック → 12名
東ブロック → 12名
多摩ブロック → 12名

各階級の推薦選手数 → 48名
[これに島嶼参加選手が加えられる。]

- ②各ブロック大会において、同一のチームから各階級に出場する選手数は、各ブロック別に定めることができるが、この大会に同一の中学校から出場する選手数は、各階級とも2名以内とする。

- ③島嶼のチームの選手が出場する場合は、総数に加えるものとする。

第8条

第6条(1)・(2)・(4)・(5)・(6)・(8)の大会については、ブロック大会への出場を義務付けブロック大会に出場したチーム、選手に参加資格が与えられる。ただし、(1)(2)の大会については、前年度(5)(8)の大会でベスト4以上に進出したチームは推薦チームとなり、ブロック大会は免除とする。

- (1) 東京都中学校対抗柔道大会
- (2) 東京都中学校対抗女子柔道大会
- (4) 東京都中学校体重量別女子柔道選手権大会
- (5) 東京都中学校新人柔道大会
- (6) 東京都中学校新人体重量別女子柔道選手権大会
- (8) 東京都中学校新人女子柔道大会

(全国大会・関東大会への推薦)

第9条

第6条(1)・(2)・(3)・(4)の大会は、東京都中学校総合体育大会柔道競技として、全国中学校柔道大会と関東中学校柔道大会の東京都予選を兼ねるものとする。全国大会・関東大会への代表チーム(選手)の決定方法は、次のとおりとする。

- (1) 東京都中学校対抗柔道大会

- ①全国大会への代表チーム決定方法

- ア 東京都の代表チーム数は、1 チームを原則とし、優勝チームを代表チームとする。
- イ 東京都が全国大会の開催地となる場合の代表チーム数は、開催地代表を加えて2 チームを原則とし、決勝戦に出場した2 チームを代表とする。

②関東大会への代表チーム決定方法

- ア 関東大会への東京都代表チーム数は4 チームとし代表チーム決定方法は、手引きの「大会組み合わせ申し合わせ事項」の「5-5 順位決定戦」を参照のこと。

(2) 東京都中学校対抗女子柔道大会

①全国大会への代表チーム決定方法

- ア 東京都代表チーム数は、1 チームを原則とし、優勝チームを代表チームとする。
- イ 東京都が全国大会の開催地となる場合の代表チーム数は、開催地代表を加えて2 チームを原則とし、決勝戦に進出した2 チームを代表チームとする。

②関東大会への代表チーム決定方法

- ア 関東大会への東京都代表校数は3 チームを原則とし、代表チーム決定方法は、手引きの「大会組み合わせ申し合わせ事項」の「5-5 順位決定戦」を参照のこと。

(3) 東京都中学校体重別柔道選手権大会

①全国大会への代表選手決定方法

- ア 東京都代表選手数は1 名を原則とし、優勝者を代表選手とする。
- イ 東京都が全国大会の開催地となる場合の代表選手数は、開催地代表を加えて2 名を原則とし、決勝戦進出者2 名を代表選手とする。

②関東大会への代表選手決定方法

- ア 関東大会への東京都代表選手数は3 名を原則とし、代表者の決定方法は手引きの「大会組み合わせ申し合わせ事項」の「2-5 順位決定戦」を参照のこと。

(4) 東京都中学校体重別女子柔道選手権大会

①全国大会への代表選手決定方法

- ア 東京都代表選手数は、1 名を原則とし、優勝者を代表選手とする。
- イ 東京都が全国大会の開催地となる場合の代表選手数は、開催地代表を加えて2 名を原則とし、決勝戦進出者2 名を代表選手とする。

②関東大会への代表選手決定方法

- ア 関東大会への東京都代表選手数は2 名を原則とし、代表者決定方法は手引きの「大会組み合わせ申し合わせ事項」の「3-5 順位決定戦」を参照のこと。

(ブロック大会)

第10条

削除

(団体戦のチーム編成)

第11条

東京都で行われる中学校柔道大会における団体戦のチームは、1 チーム単位で編成したチームとし、次の要領で編成しなければならない。なお、補欠と交代し一度退いた選手はその後の一連の試合に出場できない。

(1) 東京都中学校対抗柔道大会

- ① 1 チームの人員は、監督(当該学校の教員又は地域クラブ活動の監指導者) 1 名、男子選手5 名・男子補欠2 名の計8 名で編成し、体重の最も重い者を大将とし、以下順次体重順に編成する。
- ② 1 チームの出場選手数は5 名とするが、これに満たない場合は少なくとも3 名以上で編成する。5 名に満たない場合は大将より順次体重順に編成するものとし、4 名の場合は先鋒を、3 名の場合は先鋒・次鋒を

空位とする。

- ③選手を交代するときは、あらかじめ登録された補欠の選手でなければならない。交代した場合も体重の最も重い者を大将とし、以下順次体重順に編成する。

(2) 東京都中学校対抗女子柔道大会

- ①1チームの人員は、監督（当該学校の教員又は地域クラブ活動の指導者）1名、女子選手3名・女子補欠1名の計5名で編成し、体重の最も重い者を大将とし、以下順次体重順に編成する。
- ②1チームの出場選手数は3名とするが、これに満たない場合は少なくとも2名以上で編成する。3名に満たない場合は大将より順次体重順に編成するものとし、2名の場合は先鋒を空位とする。
- ③選手を交代するときは、あらかじめ登録された補欠の選手でなければならない。交代した場合も体重の最も重い者を大将とし、以下順次体重順に編成する。

(3) 東京都中学校新人柔道大会

- ①1チームの人員は、監督（当該学校の教諭）1名、1年もしくは2年の選手5名と補欠2名の計8名で編成し、体重の最も重い者を大将とし、以下順次体重順に編成する。
- ②1チームの出場選手数は5名とするが、これに満たない場合は少なくとも3名以上で編成する。5名に満たない場合は、順次体重順に編成するものとし、4名の場合は先鋒を、3名の場合は先鋒・次鋒を空位とする。
- ③選手を交代するときは、あらかじめ登録された補欠の選手でなければならない。交代した場合も体重の最も重い者を大将とし、以下順次体重順に編成する。

(4) 東京都中学校新人女子柔道大会

- ①1チームの人員は、監督（当該学校の教員又は地域クラブ活動の指導者）1名、女子選手3名・女子補欠1名の計5名で編成し、体重の最も重い者を大将とし、以下順次体重順に編成する。
- ②1チームの出場選手数は3名とするが、これに満たない場合は少なくとも2名以上で編成する。3名に満たない場合は大将より順次体重順に編成するものとし、2名の場合は先鋒を空位とする。
- ③選手を交代するときは、あらかじめ登録された補欠の選手でなければならない。交代した場合も体重の最も重い者を大将とし、以下順次体重順に編成する。

(個人戦の階級)

第12条

東京都で行われる中学校柔道大会における個人戦の階級は、次のとおりとする。

(1) 東京都中学校体重別柔道選手権大会

この大会は、男子の出場する大会であり、次の体重区分により8階級を行う。

「50 kg級」	→ 50.0 kg以下
「55 kg級」	→ 50.0 kgを超えて 55.0 kg以下
「60 kg級」	→ 55.0 kgを超えて 60.0 kg以下
「66 kg級」	→ 60.0 kgを超えて 66.0 kg以下
「73 kg級」	→ 66.0 kgを超えて 73.0 kg以下
「81 kg級」	→ 73.0 kgを超えて 81.0 kg以下
「90 kg級」	→ 81.0 kgを超えて 90.0 kg以下
「90 kg超級」	→ 90.0 kgを超える

(2) 東京都中学校体重別女子柔道選手権大会

この大会は、女子が出場する大会であり、次の体重区分により8階級を行う。

「40 kg級」	→ 40.0 kg以下
「44 kg級」	→ 40.0 kgを超えて 44.0 kg以下
「48 kg級」	→ 44.0 kgを超えて 48.0 kg以下

- 「52 kg級」 → 48.0 kgを超えて 52.0 kg以下
「57 kg級」 → 52.0 kgを超えて 57.0 kg以下
「63 kg級」 → 57.0 kgを超えて 63.0 kg以下
「70 kg級」 → 63.0 kgを超えて 70.0 kg以下
「70 kg超級」 → 70.0 kgを超える

(3) 東京都中学校新人体重別女子柔道選手権大会

この大会は1・2年生女子が出場する大会であり、次の体重区分により8階級を行う。

- 「40 kg級」 → 40.0 kg以下
「44 kg級」 → 40.0 kgを超えて 44.0 kg以下
「48 kg級」 → 44.0 kgを超えて 48.0 kg以下
「52 kg級」 → 48.0 kgを超えて 52.0 kg以下
「57 kg級」 → 52.0 kgを超えて 57.0 kg以下
「63 kg級」 → 57.0 kgを超えて 63.0 kg以下
「70 kg級」 → 63.0 kgを超えて 70.0 kg以下
「70 kg超級」 → 70.0 kgを超える

(4) 東京都中学校新人体重別柔道選手権大会

この大会は1・2年男子が出場する大会であり、次の体重区分により8階級を行う。

- 「50 kg級」 → 50.0 kg以下
「55 kg級」 → 50.0 kgを超えて 55.0 kg以下
「60 kg級」 → 55.0 kgを超えて 60.0 kg以下
「66 kg級」 → 60.0 kgを超えて 66.0 kg以下
「73 kg級」 → 66.0 kgを超えて 73.0 kg以下
「81 kg級」 → 73.0 kgを超えて 81.0 kg以下
「90 kg級」 → 81.0 kgを超えて 90.0 kg以下
「90 kg超級」 → 90.0 kgを超える

第3章 参加資格

(参加資格)

第13条

選手は、東京都中学校体育連盟に加盟している中学校の生徒でなければならない。ただし、中高一貫校の生徒は、中学部入学から3年間の中等課程に在籍している者とする。また、東京都中学校体育連盟に認められた地域クラブ活動の中学生とする。

第14条

選手は当該中学校長の参加承認を得ている者でなければならない。「申込書」に学校長の承認印のない場合は、出場することができない。※地域クラブ活動は除く

(大会の引率)

第15条

選手は大会当日、学校長が承認し、かつ大会本部に登録した引率責任者によって引率されていなければならない。地域クラブ活動においては代表者が承認し、かつ大会本部に登録した引率責任者によって引率される。

（引率の代理）

第16条

第15条に示す責任者が引率できず、代理の者が引率する場合も、当該中学校の教員でなければならない。また、その場合は当該中学校長が承認した委任状を持参しなければならない。委任状は大会本部にすみやかに提出するものとする。※地域クラブ活動は除く”

【第15・16条の特例】＝P8「東京都中学校体育大会監督・引率細則」参照

【第15・16条の特例】

次の大会においては、東京都中学校体育連盟が別に定める条項に従って、当該校の学校職員・当該校の部活動を指導している外部指導者・当該生徒の保護者の中から当該校の学校長が承認した者の引率を認める。

- （1） 東京都中学校体重別柔道選手権大会
- （2） 東京都中学校体重別女子柔道選手権大会
- （3） 東京都中学校新人体重別女子柔道選手権大会
- （4） 東京都中学校新人体重別柔道選手権大会

（チーム編成の単位）

第17条

団体戦におけるチームの編成は、中学校単位、同一地域クラブ活動の生徒で編成しなければならない。

（登録選手の変更）

第18条

登録された選手に事故があったときは、あらかじめ登録された補欠の選手をもって補充しなければならない。大会開始前にあらかじめ登録された選手（補欠を含む）が事故等によって大会当日に交代を余儀なくされた場合は、大会の開会式開始前までに、当該中学校長の選手変更願に医師の診断書を添えて大会本部に変更を願い出て、承認を受けなければならない。※地域クラブ活動は代表者

（競技者登録）

第19条

選手は、全日本柔道連盟の競技者登録をすることが望ましい。

（指導者登録）

第20条

引率する責任教諭は、全日本柔道連盟の指導者登録をすることが望ましい。

第4章 負傷の取り扱い

（負傷の手当て）

第21条

試合中に起きた負傷については、大会本部があらかじめ指定した救護係の応急処置を受けるものとする。大会本部は大会当日の応急処置以上の手当は行わない。

（事故報告書）

第22条

大会本部は負傷の程度に応じてその事故報告書を作成し、保存しておかなければならない。

第5章 大会参加費

（参加費）

第23条

団体戦の参加費は1チーム9,000円とする。ただし、東京都中学校春季柔道大会・女子の部及び東京都中学校対抗女子柔道大会については1チーム7,000円とする。

第24条

個人戦の参加費は1人2,000円とする。

第25条

東京都中学校柔道大会の参加費はブロック大会の参加費とは別に納めなければならない。

(参加費の納入時期)

第26条

ブロック大会に参加する中学校(チーム・選手)は、ブロック大会参加申し込みの際に参加費を納めなければならない。

第27条

ブロックの推薦を受けて東京都中学校柔道大会に参加する中学校(チーム・選手)は、ブロック大会終了後に都大会参加費をブロック大会本部に納めなければならない。

第28条

ブロック予選を経ず、オープン参加となる東京都中学校柔道大会に出場を希望する中学校は、都大会参加申し込みの際に参加費を納めなければならない。

(ブロック独自の大会の参加費)

第29条

各ブロックが独自に開催する大会の参加費の金額については、ブロックごとに決定することができる。ただし、その金額は東京都中学校柔道大会の参加費の金額を超えない範囲とし、あらかじめ本部に届け出なければならない。

第6章 試合方法

(試合形式)

第30条

試合は、原則トーナメント戦形式とする。勝敗決定の方法は、次のとおりとする。

(1) 団体戦

- ① 勝ち点の多い方を勝ちとする。
- ② 勝ち点が同等の場合は勝ち点の内容を見る。勝ち点の内容は「一本」「技あり」「有効」「僅差」の4種類とし、それに満たない場合は「引き分け」とする。
- ③ 勝ち点の内容も全く同等のときは任意の選手による代表戦を1回行い、必ず勝敗を決する。その際の判定基準は全国中学校柔道大会の申し合わせ事項による。

(2) 個人戦

その都度必ず勝敗を決するものとする。その際の判定基準は本規程第32条(判定基準)による。

(試合時間)

第31条

試合時間はすべて3分間とする。

(判定基準)

第32条

個人戦は、規定試合時間において、「一本」、「技あり」、「有効」のスコアでのみで勝敗が決する。直接もしくは累計による「反則負け」を除き、「指導」(1回目、2回目)の違いだけでは勝者を決定しない。規程試合時間内

の「指導」は、相手のスコアとはならない。規程試合時間が終了した時点で、試合両者に「一本」、「技あり」、「有効」のスコアがない場合、もしくはスコアが同等である場合、「指導」の有無にかかわらず、時間無制限の延長戦（ゴールデンスコア）を実施する。延長戦（ゴールデンスコア）に入る前の規程試合時間内に与えられたスコア、ならびに罰則は、引き続き反映され、スコアが与えられた時点で、延長戦（ゴールデンスコア）は終了となる。延長戦（ゴールデンスコア）中に「指導」が与えられた場合、与えられた選手が相手よりも多くの「指導」を受けたことになる場合、その試合は終了となる。

第7章 組み合わせ

（組み合わせ会議）

第33条

東京都中学校柔道大会の組み合わせは以下の基準に従って、常任専門委員会競技委員会が責任をもって抽選を行うものとする。ただし、必ず常任専門委員会の承認を得るものとする。尚、組み合わせ上の詳細なルールについては、手引き「大会組合せ申し合わせ事項」を参照のこと。

（ブロック大会の成績報告）

第34条

各ブロックの常任専門委員・競技委員は、東京都中学校柔道大会の予選を兼ねて行われるブロック大会の成績を8部作成し、東京都中学校柔道大会の組み合わせ会議に持参して各ブロック及び本部へ1部ずつ提出しなければならない。

第8章 表彰

（表彰の基準）

第35条

東京都中学校体育連盟柔道部が主催する東京都中学校柔道大会では手引き「大会組合せ申し合わせ事項」に記載されたとおり行う。

第9章 柔道衣

（柔道衣の規格）

第36条

試合に出場する選手は、『国際柔道連盟試合審判規程』に示された正しい規格の柔道衣を着用しなければならない。

（柔道衣の点検）

第37条

審判員は、試合を行う選手が正しい規格の柔道衣を着用していることを確認しなければならない。審判員は、規程に違反している柔道衣を着用していると指摘した選手に、正しい規格の柔道衣にすみやかに着替えなければならない。

第38条

試合中に選手が着用している柔道衣が破損していることを発見した審判員は、直ちにその試合者に合った正しい規格の柔道衣に着替えさせなければならない。また、審判員に破損を指摘された選手は、正しい規格の柔道衣にすみやかに着替えなければならない。

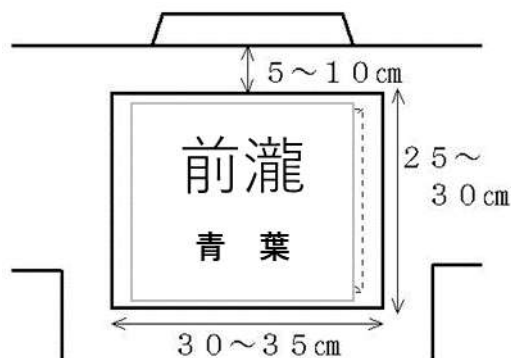
（ゼッケン）

第39条

試合に出場する選手は、柔道衣の背面に規程のゼッケンをつけなければならない。

（ゼッケン規程）括弧内の数字は

- ① 布地は白色（晒 太綾）
- ② サイズは横【30～35 cm】縦【25～30 cm】
- ③ 名字（姓）は上側 2/3
所属名は 下側 1/3 【新規格】→
- ④ 文字は楷書で太く書く。
男子は黒色・女子は濃い赤色
- ⑤ 縫い付けの場所は後ろ襟から 10 cm
【5～10 cm】下部に位置する場所に縫い付ける。対角線にも縫い付ける。
- ⑥ 横 30 cm±3 cm・縦 22 cm±3 cmとあるのは体格の大きさに応じて±3 cmを考慮するということである。



（柔道衣のチーム名のマーク）

第40条

東京都中学校体育連盟が主催する大会に出場する選手は、所属するチーム名もしくはチームを象徴するマーク以外をつけた柔道衣を着用して試合に参加することはできない。”

（有段者が黒帯を締める義務）

第41条

試合に出場する選手で、講道館より段位を認められている者は黒帯を締めなければならない。

（試合者が赤白紐を締める義務）

第42条

試合に出場する選手は、赤白を標識する赤（又は白）の紐を締めなければならない。その赤白を標識する紐は出場チーム（者）が必要分を用意しなければならない。

第10章 計 量

（計量義務）

第43条

東京都中学校柔道大会のうち、計量の必要がある大会に出場する選手は、計量時間内に計量を受け、参加資格の確認を受けなければならない。

（体重区分違反の失格）

第44条

体重別選手権大会に出場を申し込んだ選手が計量をしたとき、あらかじめ届け出た階級の体重区分に適していない選手は失格とし、その大会に出場する権利を失う。なお、体重区分に適していないというのは、規定の体重を超えた場合だけでなく、規定の体重に達していない場合も含む。[第2章第12条参照] ”

（計量時の服装）

第45条

計量の服装は、男子はTシャツと柔道着の下穿き、女子は白の無地Tシャツと柔道衣の下穿きの着用とする。包帯・サポーター等の着用は一切認めない。なお、体重別選手権大会の計量には柔道衣の重さは含まないので、必要に応じて脱衣して計量することができる。”

（適切な減量指導の義務）

第46条

試合に出場を希望する選手は発育・発達過程にある中学生であることを考慮し、無理な減量を行ってはならない。指導する責任教諭は教育的見地から適切な指導をしなければならない。

第11章 応 援

（試合会場への入場）

第47条

東京都中学校柔道大会の試合会場に入場できるのは、大会役員並びに試合申込用紙にあらかじめ登録した責任者（引率者）とその出場チームの選手・補欠のみとする。その他は応援者であり、試合会場に入場することはできない。但し、東京都中学校体育連盟に登録されている各チーム1名の外部指導者は入場を認める。

（大会会場使用上の注意）

第48条

東京都中学校柔道大会に参加する出場チームの責任者（引率者）と選手は借用する会場の使用規程を遵守する義務と責任を負う。また、応援者も大会関係者であり、同様の義務と責任を負う。会場の使用に関して、著しく他に迷惑と影響を及ぼしたと指摘された中学校は、以後の東京都中学校体育連盟が主催する大会に出場を見合わせる場合もあり、当該チームはその決定に従わなければならない。

第12章 その他の申し合わせ

（登録）

第49条

東京都中学校体育連盟柔道部に加盟し、第2章・第6条で示されている東京都中学校柔道大会に出場を希望するチームは、下記の要領で『加盟・登録』を行わなければならない。

（1）東京都中学校体育連盟への加盟

学校として東京都中学校体育連盟への加盟登録を行う。加盟登録に際しては所定の加盟費を納付するものとする。

（2）（公財）全日本柔道連盟登録

① （公財）全日本柔道連盟ならびに（公財）東京都柔道連盟が主催する大会に出場を希望する場合は、（公財）全日本柔道連盟が別に定める団体登録並びに出場希望選手の競技者登録を行い、それぞれの登録について登録費を納入する。また、初段に合格した者は（公財）全日本柔道連盟が別に定める競技者登録を行い、登録費を納入する。

② 指導者登録は個々の指導者の判断によって行うものとする。

（競技役員・係員）

第50条

「競技役員」「係員（補助役員）」については下記のとおりとする。

（1）競技役員

第2章・第6条で示されている東京都中学校柔道大会の競技役員は、東京都中学校体育連盟に加盟登録している中学校の責任教諭・引率者をもって構成する。役員の構成・人数については別に定める。

（2）係員

第2章・第6条で示されている東京都中学校柔道大会の係員は、東京都中学校体育連盟に加盟登録してい

る中学校の生徒をもって構成する。係員の構成・人数については別に定める。「係員」に指名された中学校の責任教諭は、大会運営に支障のない程度の知識・内容を生徒に適切に指導しなければならない。

付 則

第51条

この大会実施規程は、平成3年4月1日より実施する。

第1次改定は、平成5年4月17日より実施する。

第2次改定は、平成6年4月23日より実施する。

第3次改定は、平成7年4月20日より実施する。

第4次改定は、平成8年4月20日より実施する。

第5次改定は、平成9年4月19日より実施する。

第6次改定は、平成10年4月18日より実施する。

第7次改定は、平成11年4月17日より実施する。

第8次改定は、平成12年4月15日より実施する。

第9次改定は、平成13年4月21日より実施する。

第10次改定は、平成14年4月19日より実施する。

第11次改定は、平成15年4月18日より実施する。

第12次改定は、平成16年4月24日より実施する。

第13次改定は、平成17年4月23日より実施する。

第14次改定は、平成18年4月22日より実施する。

第15次改定は、平成19年4月21日より実施する。

第16次改定は、平成20年4月19日より実施する。

第17次改定は、平成22年4月24日より実施する。

第18次改定は、平成23年4月23日より実施する。

第19次改定は、平成25年4月20日より実施する。

第20次改訂は、平成28年4月23日より実施する。

第21次改訂は、令和6年4月6日より実施する。

第22次改訂は、令和7年4月6日より実施する。

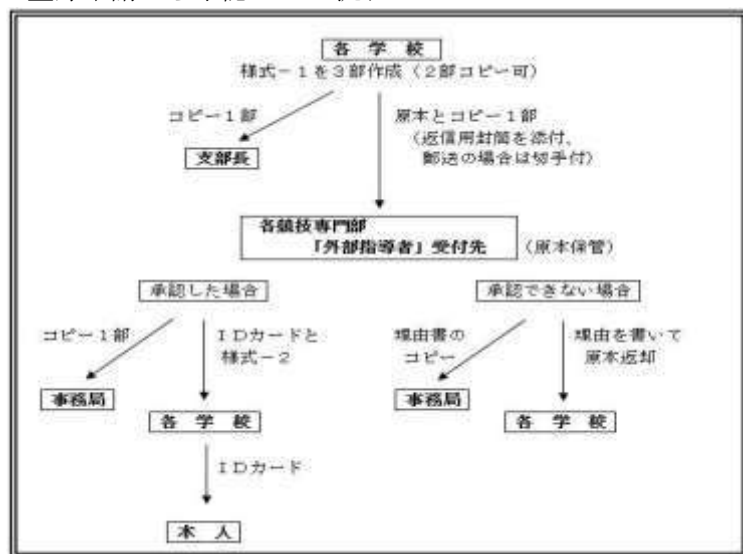
関係者各位

東京都中学校体育連盟柔道競技部
総務・広報委員会外部指導者登録申請について

1. 外部指導者について

外部指導者は校長が任命し、日頃の部活動において顧問教諭と連携を図り、当該部活動の技術的指導を行います。文部科学省令で認められた「部活動指導員」とは異なります。また、市区町村教育委員会が独自に採用している「部活動支援員」等は、市区町村教育委員会が認めている市区町村大会を除いて、ブロック大会・都大会では「外部指導者」の扱いになります。

2. 登録申請から承認までの流れ



※詳しくは、

東京都中学校体育連盟 HP

- ・外部指導者登録申請書
 - ・支部長、支部理事一覧
 - ・外部指導者受付先
- を参照してください。

3. 登録申請についての作成及び、注意点（※昨年度との変更点等）

- ① 学校長及び、顧問教諭が確認の上、登録申請してください。
- ② [東京都中学校体育連盟 HP](#) > [外部指導者登録申請書](#)から、必要書類をダウンロード等して書類を作成してください。
- ③ 柔道競技部の「外部指導者受付先」に、ご注意願います。
令和7年度 ⇒ 江東区立深川第六中学校 奥村忠範
- ④ 私立学校及び、都庁交換便の取り扱いのない公立学校は、返信用封筒（切手を貼り、宛名を明記）が必要になりますので、同封してください。
公立学校は、学校交換便か保護者等による郵送かを、十分に打ち合わせた上で、ご対応願います。
- ⑤ 登録申請から指導者証発行までに、2週間程度の時間を要します。大会直前などでは間に合わない場合がありますので、余裕を持った申請をお願いします。写真の同封があれば、作成して返送します。

4. その他

外部指導者の規定・引率等について、詳しくは、[東京都中学校体育連盟 HP](#) の[令和6年度 東京都中学校体育大会実施要項 8 監督・引率規程](#)及び、[東京都中学校体育連盟柔道競技部 HP](#) の[東京都中学校体育連盟柔道競技部大会実施規程 第3章 参加資格 \(大会の引率\) 第15条 \(引率の代理\) 第16条](#) を参照してください。

5. 受付先及び、連絡先

総務・広報委員会 奥村忠範 江東区立深川第六中学校 〒135-0023 東京都江東区平野 3-6-13

TEL : 03-3642-4868 FAX : 03-3820-4706